

新年明けまして おめでとうございます

新年あけましておめでとうございます

さて、昨年は5月にコロナウイルス感染症が5類に移行。これにより、4年ぶり地域の多くの方が交流する「敬老会」「大運動会」といった大きな行事も実施することができました。

これも皆様からの温かいご支援とご協力をいただきましたことにお礼を申し上げます。

また、本自治会では、同じ地域に住む者同士が、互いに顔を合わせて遠慮なく語り合える時間の持てる「水曜喫茶」「子育て喫茶」を開催しています。隣・近所の方と誘い合って、楽しい時間を過ごしていただければと考えています。

地域が活発に活動するということは、防犯にも効果を発揮します。更にいざという災害時にも大変役に立つものです。

本自治会では、今年も一年を通じて様々な活動を行いますので、地域の皆様の積極的な参加をお願いします。

どうぞこれからも、安全に、元気よく、安心して暮らせる地域であり続けられるように、お互い協力しながら実現して参りましょう。

この場をおかりし、元日の能登半島地震で被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。

佐濃自治会 会長 松本 哲朗



元日に地震・津波発生

● 能登半島地震

2024(令和6)年の始まりは、雪もなく暖かい元日となりました。

ところが…元日の午後4時過ぎ、能登地方を震源とする大地震が発生、本市でも震度3の揺れが長いこと続きました。

石川県志賀町では震度7を観測。七尾市と輪島市、珠洲市、穴水町では、震度6強を観測。また、日本海側には津波警報などが出され、不安を感じる正月となりました。

● 日々の備え実感した正月

国内で震度7を観測するのは2018年の北海道中東部の地震以来で、その前は熊本地震、東日本大震災、新潟県中越地震など、いずれも大きな被害をもたらしています。

地震発生から10日目に入っているものの、まだ被害の全容がつかめていません。

災害の中でも、いつ発生するのかわからないのが地震です。今年には丹後震災から97年。久美浜に大きな被害をもたらした但馬震災からは99年です。万への備えを実感した正月となりました。

地域おこし協力隊員最終年に

地域おこし協力隊員の羽尻 晶さんが、本自治会に着任して昨年12月末で2年が終了。今年が最終年となりました。

令和5年協力隊員の活動と成果、最終年の活動方向を「自治会だより」に連載していきます。



● 移住ツアー6組11人参加

昨年は5月：田植え体験（写真）、6月：かぶと山登山、9月：梨狩り体験を取り入れた空き家見学ツアーを実施。3回の移住ツアーには、6組11人の参加者がありました。9月には、遠くは大阪府堺市からの参加者もありました。

体験と食事は好評ですが、佐濃への移住はそんなに簡単に進みません。そこで、今年からツアー参加者へ定期的に連絡などを行い、移住を促す取組も行っていく予定です。

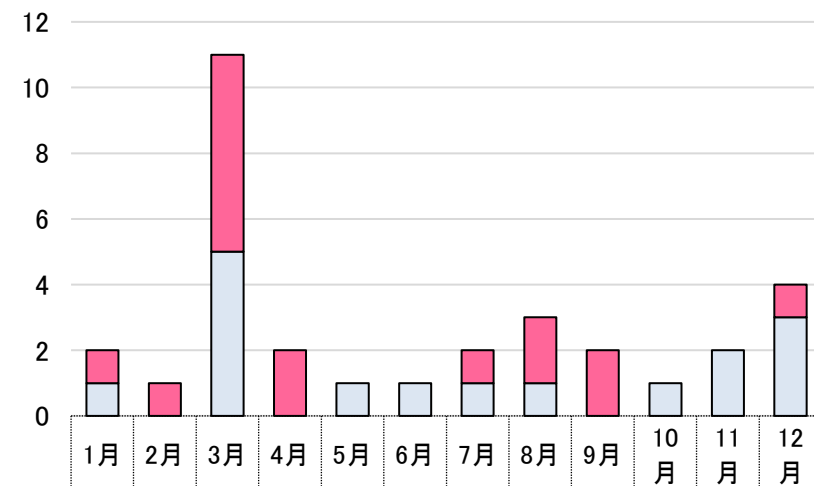
● 「子育て喫茶」ランチ提供

土曜日に親子でゆっくりできる場所があれば、という意見を基に昨年8月から月1回「子育て喫茶」を実施。毎回3~4組の親子が訪れ好評です。広い室内で遊ばせられ、いっぱいおしゃべりもできて楽しかったなどの感想もあり、令和6年も継続します。昨年12月にランチも提供したところ、一挙に参加者が増えました。（写真）



▼ 2年間32人が佐濃へ移住 ▼【資料提供：久美浜市民局】

（人） 佐濃へのUIターン者数



● 佐濃の魅力発信で…

羽尻隊員の配置を機に、2年間 Instagram や Facebook・自治会HP・「佐濃へUIターンしませんか」のチラシなどで佐濃の魅力を発信してきました。

そこで、この2年間佐濃へのUIターン者数を調べてみると、32人が佐濃へUIターンしていました。（←グラフ参照）

UIターン者の中には、佐濃発信のSNS等を見ていた人がいることもわかってきました。